

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	6
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

意見交換会の開催は、グループごとに決める。
原則として、請求された資料は無料で提供する。

T建のKさんから、進行役・T氏、K氏の指名。

簡単な自己紹介

- ・以前穂高に住んでいて、仕事を求めて米軍基地のあるところに移り住んだ。都会は環境が悪く、まるで側溝の中に住んでいるようなもの。その後、体をこわして穂高に戻った。道路を造ることで、穂高の環境を悪くしてはならない。オリンピック道路が出来て、町は空洞化し、さびれた。
- ・渋滞はどこにもない。
- ・この中に、(道路建設に)賛成の人はいるんですか？(だれも意思表示無し)
- ・賛成・反対というよりも、田中知事になって、もう一度ゼロから考え直すということで意見交換会が開かれている。
- ・論戦を深めることが大事。
- ・自己紹介が一周したところで、再度、進行役を今後どうするかについてT氏から提案。
- ・T氏は、自分が道路建設反対運動のリーダーをしているので、誰か中立の人をお願いしたいとのこと。
- ・進行役も意見が言えればよいのではないか？このまま、T氏で。との意見が出され、話し合いの結果、進行役をT氏、記録をK氏で進めることにする。

意見交換会にあたって、県から配布された資料について質問。(Q: 質問、A: 回答)

- ・資料に平成32年度の通行量が25000台/日と書かれているが、その数字の根拠を示して欲しい。(資料請求)
- ・今後、日本の人口は減少し、労働人口も減ると言われている。松本糸魚川連絡道路が必要とされている数字の根拠が、そのような将来予測を反映しているものかどうか知ることが出来れば、妥当かどうか分かる。(資料請求)

Q. 他の地域、例えば大町市や小谷村のグループとの意見交換会は出来るのか？

A. 各市町村内での意見交換会ではあるが、交流の希望があれば他のグループとも可能。

Q. (道路建設に)賛成の人がいないと、意見交換が出来ない。

A. 地域の人がどのように考えているか知るための会なので、とにかく意見を出してくれればよい。

- ・賛成反対でなく意見を述べることが大事。
- ・県は、道路を造ることを前提にして、意見交換会を行おうとしているのではないか。
- ・国も県も多額の借金を背負っている。そんなときに、このような道路をつくるべきではない。
- ・なるべく安く。
- ・環境や景観への影響も大きい。
- ・農作物への被害がある。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) PM19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	6
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- ・キロメートル当たり30億円から50億円かかると記されているが、それはいつ頃の試算なのか？
(資料請求)
- ・ずいぶん以前の調査のようだが、データは有効なのか？
- ・塩の道経済懇談会、期成同盟会のメンバーを教えて欲しい。(資料請求)
- ・メリットとして農業や観光・商工などの地域産業の振興が上げられているが、道路をつくれれば地域産業が振興するというものではない。農業にも悪影響がある。トラックの排気ガスがリングに付着する。安曇野の景観をこわすので、観光にも悪影響がある。これでは、メリットではなく、デメリット。
- ・堀金村から大町市間を調査区間にした理由として、大町以南の人口増が上げられているが、日本全体が人口が減少する傾向があり、ここで人口が増えるのならば、どこかが減るはず。それはどこなのか具体的に教えて欲しい。
- ・この道路建設計画が立てられたのはバブルが絶頂の頃。今は時代が違う。時代状況の変化を考えなければいけない。
- ・何故、これだけのお金を使ってつくらなければいけないのか。
- ・年をとって、車をいつまでも使うわけがない。人口が減少し、車を運転する人も少なくなる。高規格道路は必要なのではないか。それよりも、観光地でありながら現在の道路が安心して歩けない。日常使用する道路の整備をしてほしい。
- ・(高規格道路よりも)山麓線に遊歩道を付けるなどを優先して欲しい。
- ・これからは地方の時代。

Q. 意見交換会の結果から、道路をつくらないということもあるのか？

A. つくらないということもある。

- ・県は今まで道路建設推進の立場で期成同盟会の参与をしていた。しかし、知事が代わって、中立の立場でゼロから見直すということで、期成同盟会の参与から抜けた。今回の資料は、知事の指示で、今までやってきたことの説明をまとめたものである。
- ・〇市長の指示で〇市の職員が問答集を作成した。ルート促進協議会の名前になっているので、穂高町の税金も使われている。(それならば、反対の問答集もつくるのが公平な税金の使い方だ、との意見)
- ・大町以南は必要ではないけれど、小谷の方は道路が本当に良くない。向こうは必要。
- ・大町以北も、道路の整備が進んで、返って大町以南よりも良い道になっている。是非、行って見に来て欲しい。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) PM19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	6
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

(それでは、次回には、大町以北で必要かどうか議題にします)

- ・国土交通省が計画を進めているので、国にも建設中止の働きかけをしないといけない。
- ・議員は地域にお金を取ってくるのが仕事だと思っている。名刺の裏には、私のつくった道路と書いてある。
- ・この道路建設は穂高町にとって大変重要な問題。建設を促進している町長や議員も出席して、住民の生の声を聞いてもらいたい。(県から出席の働きかけを要望)
- ・今回のような議論の進め方ではダメ。反対のための反対意見では効果がない。全員が建設に反対の意見で、それを言っているだけの仲良しグループではダメ。ゼロベースから、将来はどうなるのか、今後はどうするのか、考えなくてはいけない。
- ・建設に賛成はほとんどいないと思っていた。反対の意見でかたまりすぎないことが大事。
- ・意見交換会の話をするベースは2つある。1つは現時点の道路事業の評価で、もう1つは道路建設を棚上げの状態にして、地域の交通のあり方を考える方法。10～20年後の交通アクセス、地域おあり方を考える必要がある。
- ・国土交通省が出した、渋滞を経済損失に換算した資料の詳しいものを取り寄せて欲しい。
- ・年をとると、(道路よりも)近くに病院があって欲しいと思う。

次回は、10月2日(火)午後7時から、町民会館・体育館会議室で。

追記

- ・意見の言いっ放しや二項対立にならないように、昨年行った県の説明会の際に各地域で出された質問、意見を資料として提供し、他の地域の事情についても考えるようにする必要があるのではないかな。
- ・平成6年度の交通量調査と昨年度の交通量調査の結果を資料として欲しい。
(地図の方が見やすいので良いと思う)